

ポストコロナにおける移動ニーズに対応した ビジネスジェット等の活用に関する調査研究(最終報告)

背景

- ポストコロナにおける利用者ニーズに対応した新たな航空旅客需要の創出は、引き続き課題。
- ビジネスジェット等を利用した地域振興事例を踏まえた具体的な検討を進められていないという課題。

目的

- コロナ禍においても旅客需要の変動が比較的小さいビジネスジェット等の**利用環境改善を図り、地域振興**及び**地方空港の利用活性化**の方策検討へ寄与する基礎資料を作成する。

調査の概要

- 1年目の海外事例調査の結果
空港からの二次交通は富裕層に共通のニーズ。
- 2年目の調査内容
『**アシ**』（**空港からの二次交通**）を中心に、**国内の**
空港周辺地域におけるサービス等※の事例を調査。

※『アシ』に加え、『空港』：ビジネスジェット等の受入体制等の状況、『ウリ』：滞在価値、『ヤド』：宿泊施設、『ヒト』：人材、『コネ』：売り込み

調査対象

『アシ』	(『アシ』種類)	『空港』	『ウリ』等
ルスツリゾート	ヘリコプター	新千歳空港	ニセコ・ルスツ
奥宿 無相荘	ヘリコプター	大分空港	由布院
かりゆしビーチリゾート ・オーシャンスパ ・Space Aviation	ヘリコプター	那覇空港	沖縄
株式会社minorhythm	高級送迎車	<既出> 新千歳空港	<既出> ニセコ・ルスツ
天空の森	高級送迎車 (ヘリコプター)	鹿児島空港	霧島

サービス等

必要な取組に関する知見

『アシ』 ヘリコプター	1) 運航等： バックアップ （陸路移動）の 確保、丁寧な調整及び説明 2) 空港： 受入体制の整備及び調整 3) 収益性：ヘリコプター使用の 他事業との組合せ の検討
『アシ』 高級送迎車	1) 人材：地域で育成していく 環境づくり の検討 2) 空港：必要な各種の許可・承認の取得に関する 支援
『空港』	1) 利便性：専用施設の利用可能 時間 ・利用申込 期間 の延長、手配可能 サービスの拡充 2) 地上支援体制：周辺の空港との 連携 、人材共有の 仕組みづくり
『ウリ』	：観光又は体験 内容の工夫 、 複数の選択肢 の提供
『ヤド』	：富裕層等ターゲットを明確化した 客室・設備の設置・改装
『ヒト』	：高水準の知見、知識、教養を持つ 人材の育成
『コネ』	：地域全体の情報発信や手配を行う 体制づくり

まとめ